

# 今後の水産業の方向性について

令和 7 年 1 月 29 日（木）

静岡県経済産業部水産・海洋局

# 静岡県に関する意識調査

(県政インターネットモニターアンケート、回答者数463人)

## ○主旨説明

- ・近年、海水温の上昇等の海洋環境の変化や豪雨による河川からの草木の流入など、静岡県の海は大きな影響を受けています。
- ・豊かな海の恵みを次世代へ継承するための対策を検討する上で参考にしたいため、アンケートへの御協力をお願いいたします。

## ○回答期間

- ・令和6年11月22日～12月5日

## ○回答者属性

	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	192	41.5%
	女性	267	57.7%
	その他	4	0.9%
年代	10代	5	1.1%
	20代	30	6.5%
	30代	44	9.5%
	40代	85	18.4%
	50代	124	26.8%
	60代	99	21.4%
	70代	57	12.3%
	80代	19	4.1%
	90代	0	0.0%

	カテゴリー名	回答者数	%
住所	賀茂	5	1.1%
	東部	140	30.2%
	中部	162	35.0%
	西部	156	33.7%
	県外	0	0.0%
職業	自営業	34	7.3%
	会社員	152	32.8%
	公務員	17	3.7%
	パート・内職従事者	83	17.9%
	学生	26	5.6%
	無職	127	27.4%
	その他	24	5.2%

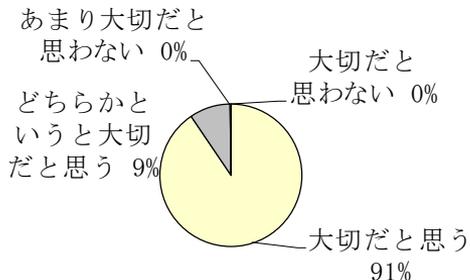
# 静岡県に関する意識調査

## 要点

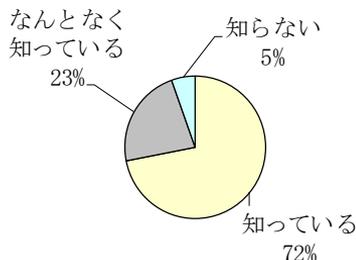
- 本県の海を大切だと思っている人は多い。
- 漁獲物の減少や草木の流入を知っている人は多いが、磯焼けを知っている人は余り多くない。
- 藻場回復や草木の除去には肯定的な意見が多い。

## 設問と回答

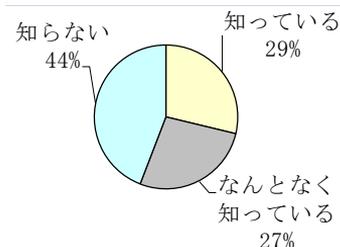
### 問1 本県の海は大切な存在か



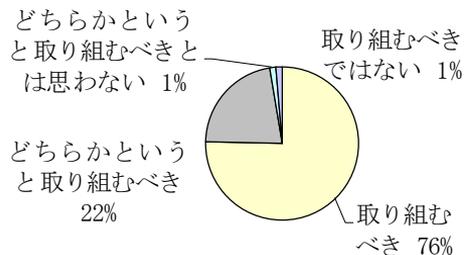
### 問2 本県の漁獲量が減少傾向であることを知っているか



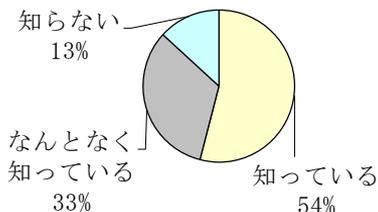
### 問3 本県で「磯焼け」が発生していることを知っているか



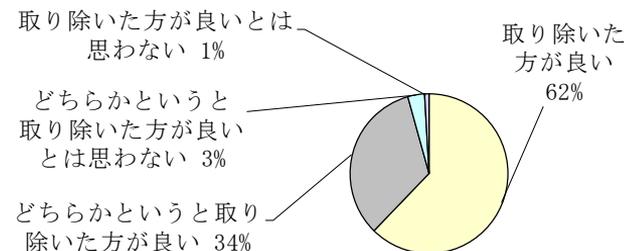
### 問4 藻場回復の取組をした方が良いか



### 問5 台風や豪雨により草や木が海に流れ込んでいることを知っているか



### 問6 海に流れ込んだ草や木を取り除いた方が良いか

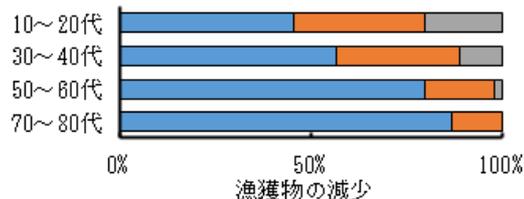


# 静岡県に関する意識調査

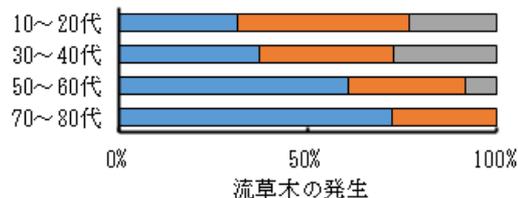
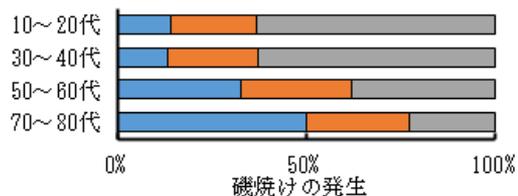
## 要点

- 10～20代の認識率が低い。
- 教育、啓蒙、広報活動への意見が多い。
- 海山川を関連づけた保全の意見が多い。

## ○属性分析



- 1 知っている
- 2 なんとなく知っている
- 3 知らない



## ○その他意見

- ・プラスチックゴミを減らすべき
- ・海岸清掃すべき
- ・子ども達への教育が必要
- ・啓蒙活動が必要
- ・現状を広報すべき
- ・海山川を関連づけた保全の意見
- ・海をきれいに、次世代へ繋ぐ取り組みが必要
- ・地球温暖化、環境全般に対する改善
- ・水産資源の維持が必要
- ・藻場の回復について費用対効果が明確でない
- ・漁業の妨げになる部分について最低限で対応
- ・自然環境の変化について対策をしても効果があるか疑問

# 水産業の未来づくり推進

## 要点

- 静岡の豊かな海を未来につなぐため、漁業者や漁協に加え、海に関わる**多様な関係者**によるプラットフォームを新たに立ち上げ
- **未来志向の対応**を幅広く検討

### 【海洋環境の変化】

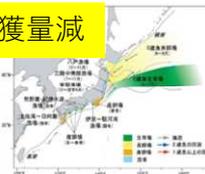
- ・黒潮大蛇行
- ・海水温上昇
- ・気象災害多発



### 【水産業への影響】

- ・水産資源の低迷、分布や回遊の変化
- ・藻場の衰退、流沈木等による漁場の荒廃

### 漁獲量減



### 磯焼けの拡大



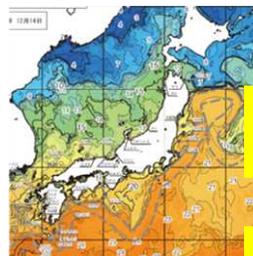
## 【対応策】

### 静岡の水産業を未来につなぐプラットフォーム（案）



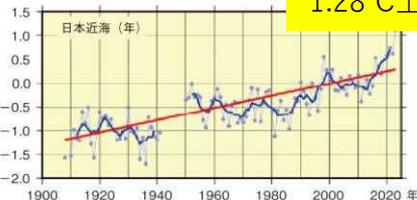
静岡県水産振興審議会

- 水産業の今を生き抜く方向性の整理
- 未来の水産業への提言
- 新たな協働の開始



2017年～  
8年間継続

100年間で  
1.28℃上昇



資料：気象庁地球環境・海洋部「海面水温の長期変化傾向（日本近海）より抜粋  
注：図の青丸は各年の平年差を、青の太い実線は5年移動平均値を示す。赤の太い実線は長期変化傾向を示す。